

プロパティ
エージェント
プロジェクト

賃貸・居住に転用可能な コンパクトマンション開発

投資用マンション事業を手掛けるプロパティ・エージェントは、DIN K S世帯向けに、ライフスタイルの変化を想定し、居住にも賃貸にも活用できる都市型のコンパクトマンションの販売を開始する。

10年国債金利が低水準

で推移し、貸借から購入へのニーズの変化や、女性の社会進出や共働き世帯の増加に着目した。

これまでの都心の投資用ワンルームマンションの供給で、リーシング率99・8%の実績やノウハウをもとに、賃貸に転用しても資産効率の良い30

60平方メートルの供給を目指す。開発エリアは従来通り東京23区・横浜に特化する。

同社の16年3月期第2四半期業績は、04年の創業以来、13期連続での増収増益を達成した。経常利益では、過去最高益を計上した。

プロパティエージェント	高利益	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
16年3月	94億円	8億円	7億円	4億円	125億円	9億円
17年3月	(9.0%)	(0.2%)	(1.0%)	(△1.9%)	(33.1%)	(8.8%)
16年3月	125億円	9億円	7億円	4億円	125億円	9億円
17年3月	(33.1%)	(8.8%)	(3.2%)	(8.0%)	(33.1%)	(8.8%)

決算予想

不動産販売事業での顧客分類では、自社営業のうち、新規顧客への販売が35・5%（前年比6

・9割増）、紹介顧客への販売が21・8%（前年比3・5割増）と構成比が堅調に推移した。

17年3月期には計画販売戸数470戸を計画している。

同社は15年12月にジャスタックに上場。東京23区・横浜に特化し投資用ワンルームマンションを供給するほか、物件相場サイト「ふじたろう」を運営している。